とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	1月8日
クラス名（年齢）	ひよこ組（0歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

氷に触れてみよう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

色々な事に興味を示している子どもたちの姿から、寒い時期にできる氷にも興味を持って触ってみたいと思う。

2、活動スケジュール

寒い時期ならではの氷を子どもと一緒に見つけ、見たり触ってみたりして楽しむ。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

前日から水を入れたカップを凍りそうな日陰に用意したり、池の氷も確認し、できている氷に触れてみる。

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

朝、戸外へ出る際に、カップの水や池の水が凍っているかを見て、子どもと一緒に氷に触れてみる

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・池の氷が凍っていたので、保育者が氷のかけらを手に持って子どもの近くで見せる。子どもは興味を持ってよく見たり、手を伸ばして触れてみようとする子どももいた。氷をずっと持っている子どもに保育者が「つめたいね～」と言葉をかけると「たいね～」と繰り返して言ったり笑ったりする。手に持ったまま氷を見つめたり、保育者に「あ」と氷を見せて満足そうに笑う子どももいる。氷が手から滑って落ちてしまうと、透明で子どもの目には見えなくなってしまったようだったが、保育者に拾ってもらうとまた嬉しそうに持っている。手に持つことを嫌がって、葉っぱを拾うなどしている子どももいた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

氷を見たらどんな反応をするか楽しみだったが、いろいろな事に興味を持っている時期なので、喜んで持ってみようとする子どもが多かった。氷は冷たいが、大事そうに持ち続けるので、それだけ気に入っていたんだと感じた。手の温かさで溶けて小さくなっていったり、落として砂が付いてしまったりもしたが、初めての氷は楽しい体験となり嬉しく思う。また氷を作って